

ガウス関数のモーメントを簡単に計算する方法

クロメル@物理のかぎプロジェクト

2012-10-28

この記事では、確率・統計で使われる、ガウス分布のモーメント計算を簡単にする為のテクニックを紹介します。

ちなみに、

$$\int_{-\infty}^{\infty} e^{-\alpha x^2} dx = \sqrt{\frac{\pi}{\alpha}} \quad (1)$$

は、既知であるとして。ご存知のない方は、COさんの、[ガウス積分の公式](#)をご覧ください。

モーメントとガウス分布

分布関数 $p(x)$ に対し、 n 次 (n は整数) のモーメント $\langle x^n \rangle$ とは、

$$\langle x^n \rangle = \frac{\int_{-\infty}^{\infty} x^n p(x) dx}{\int_{-\infty}^{\infty} p(x) dx} \quad (2)$$

で定義されます。ここで、式 (2) の分母は正規化を表しており、

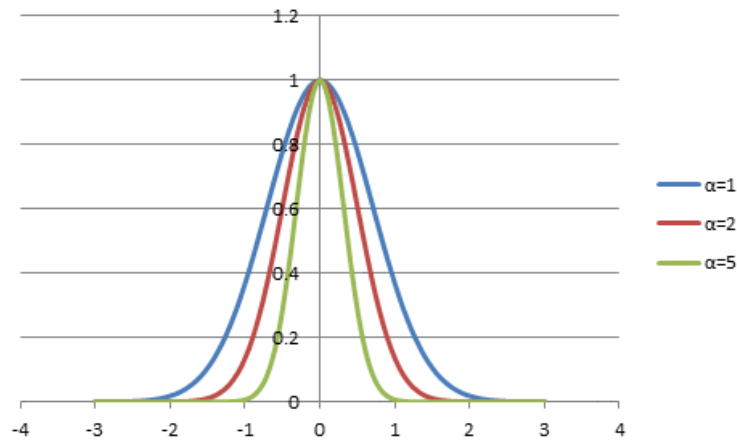
$$p'(x) = \frac{p(x)}{\int_{-\infty}^{\infty} p(x) dx} \quad (3)$$

とすれば、分布関数 $p'(x)$ は総和が 1 に等しいので、変数 x での値を取る時の確率が $p'(x)$ となります。

ところで、ガウス分布とは実数 $\alpha (> 0)$ として、

$$p_G(x) = \exp(-\alpha x^2) \quad (4)$$

という釣鐘 (つりがね) 型の分布関数をした分布です。この関数のことをガウス関数、または、ガウシアンと呼びます。グラフにすると



と、このようになります。パラメータの α は、大きいほど原点に局在する鋭い分布関数になります。

ガウス関数のモーメント

ここで、ガウス分布に関するモーメントを考えてみましょう。モーメントを表す括弧に G の添え字をつけて、ガウス分布であることを表示しておきます。

ちなみに、

$$\int_{-\infty}^{\infty} e^{-\alpha x^2} dx = \sqrt{\frac{\pi}{\alpha}} \quad (5)$$

は、既知であるとして。

すると、まず 0 次のモーメントは、

$$\begin{aligned} \langle x^0 \rangle_G &= \frac{\int_{-\infty}^{\infty} x^0 p_G(x) dx}{\int_{-\infty}^{\infty} p_G(x) dx} \\ &= \frac{\int_{-\infty}^{\infty} p_G(x) dx}{\int_{-\infty}^{\infty} p_G(x) dx} \\ &= \frac{\sqrt{\pi/\alpha}}{\sqrt{\pi/\alpha}} \\ &= 1 \end{aligned} \quad (6)$$

となります。これは簡単でしたね。

次は、1 次のモーメントです。

$$\int_{-\infty}^{\infty} x p_G(x) dx \quad (7)$$

は、

$$\begin{aligned} \frac{d}{dx} p_G(x) &= \frac{d}{dx} \exp(-\alpha x^2) \\ &= -2\alpha x \exp(-\alpha x^2) \end{aligned} \quad (8)$$

ですから，

$$\begin{aligned} \int_{-\infty}^{\infty} x \exp(-\alpha x^2) dx &= \frac{1}{-2\alpha} [\exp(-\alpha x^2)]_{-\infty}^{\infty} \\ &= 0 - 0 = 0 \end{aligned} \tag{9}$$

より，

$$\langle x \rangle_G = 0 \tag{10}$$

です．一般にガウス関数の奇数次のモーメントは奇関数の積分範囲が原点对称な積分ですから，ゼロとなります．もし，どうしても計算で示したいときは， $x^2 = u$ と置換積分を行うとよいでしょう．

$$\langle x^{2n+1} \rangle_G = 0 \quad (\text{for } n = 0, 1, 2, 3, \dots) \tag{11}$$

それでは，2 次のモーメントを求めます．それは部分積分を利用します．

$$\begin{aligned} \int_{-\infty}^{\infty} x^2 \exp(-\alpha x^2) dx &= \frac{1}{-2\alpha} \int_{-\infty}^{\infty} x \frac{d}{dx} (\exp(-\alpha x^2)) dx \\ &= \frac{-1}{2\alpha} [x \exp(-\alpha x^2)]_{-\infty}^{\infty} + \frac{1}{2\alpha} \int_{-\infty}^{\infty} \frac{d}{dx} (x) \exp(-\alpha x^2) dx \\ &= 0 + \frac{1}{2\alpha} \int_{-\infty}^{\infty} \exp(-\alpha x^2) dx \\ &= \frac{1}{2\alpha} \sqrt{\frac{\pi}{\alpha}} \end{aligned} \tag{12}$$

よって，2 次のモーメントは，

$$\begin{aligned} \langle x^2 \rangle_G &= \frac{\int_{-\infty}^{\infty} x^2 \exp(-\alpha x^2) dx}{\int_{-\infty}^{\infty} \exp(-\alpha x^2) dx} \\ &= \frac{1}{2\alpha} \sqrt{\frac{\pi}{\alpha}} / \sqrt{\frac{\pi}{\alpha}} \\ &= \frac{1}{2\alpha} \end{aligned} \tag{13}$$

非負の整数 n に対して， $\langle x^{2n} \rangle_G$ は部分積分を繰り返すことで，求めることができます．

そんな面倒をしなくても

と，ここまでモーメントの計算をしてきましたが，実は簡単に済ませる方法があるのです．それには，

$$x^{2n} \exp(-\alpha x^2) = \left(-\frac{\partial}{\partial \alpha} \right)^n \exp(-\alpha x^2) \tag{14}$$

と書けることを利用します． x での積分と α での積分を入れ替えます．つまり，

$$\begin{aligned} \int_{-\infty}^{\infty} x^{2n} \exp(-\alpha x^2) dx &= \int_{-\infty}^{\infty} \left(-\frac{\partial}{\partial \alpha} \right)^n \exp(-\alpha x^2) dx \\ &= \left(-\frac{\partial}{\partial \alpha} \right)^n \int_{-\infty}^{\infty} \exp(-\alpha x^2) dx \\ &= \left(-\frac{\partial}{\partial \alpha} \right)^n \left(\sqrt{\frac{\pi}{\alpha}} \right) \end{aligned} \tag{15}$$

よって,

$$\begin{aligned}
 \langle x^2 \rangle_G &= \int_{-\infty}^{\infty} x^2 \exp(-\alpha x^2) dx / \int_{-\infty}^{\infty} \exp(-\alpha x^2) dx \\
 &= \left\{ \left(-\frac{\partial}{\partial \alpha} \right) \sqrt{\frac{\pi}{\alpha}} \right\} / \sqrt{\frac{\pi}{\alpha}} \\
 &= \frac{1}{2\alpha} \sqrt{\frac{\pi}{\alpha}} / \sqrt{\frac{\pi}{\alpha}} \\
 &= \frac{1}{2\alpha}
 \end{aligned} \tag{16}$$

となり,

$$\begin{aligned}
 \langle x^4 \rangle_G &= \int_{-\infty}^{\infty} x^4 \exp(-\alpha x^2) dx / \int_{-\infty}^{\infty} \exp(-\alpha x^2) dx \\
 &= \frac{3}{2\alpha} \frac{1}{2\alpha} \sqrt{\frac{\pi}{\alpha}} / \sqrt{\frac{\pi}{\alpha}} \\
 &= \frac{3}{4\alpha^2}
 \end{aligned} \tag{17}$$

となり, 一般に,

$$\begin{aligned}
 \langle x^{2n} \rangle_G &= \int_{-\infty}^{\infty} x^{2n} \exp(-\alpha x^2) dx / \int_{-\infty}^{\infty} \exp(-\alpha x^2) dx \\
 &= \frac{(2n-1)!!}{2^n \alpha^n}
 \end{aligned} \tag{18}$$

となることが分かります. ただし,

$$(2n-1)!! = (2n-1) \cdot (2n-3) \cdot \dots \cdot 3 \cdot 1$$

です. それでは, 今日はこの辺で. お疲れ様でした.